

## (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、食についての興味があり、関西が管理学系に在る大学を探していました。

部活の先輩が同志社女子大学に通っていて、設備の充実や国家試験の合格率の高さなどが良い所を聞き、同志社女子大学を志望校に決めました。

## (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

## [1学期]

私は部活をしていたので、解読や土日は練習や試合などがあり、ほかほか勉強時間とするのが難しかったのですが、私なりに勉強時間をとろうと思い、毎日朝早くに学校に行き、1時間自習室で勉強をしたり、電車に乗っている時間が長かったので、電車で勉強していました。どんな勉強をすれば良いのか分からなかったため、模試の過去問を重点的にしていました。

## [夏休み]

高校の宿題や塾の教材で、センター試験の勉強をしていました。私は家では集中が続かないので、毎日塾に行き、勉強をしていました。英語が苦手科目だったので、毎日長文を読むようにしていました。その他の科目は毎日やる量を決めて勉強していました。勉強時間やどの教科にどれだけ時間を費やしているのか分かるように、毎日手帳に書いていました。

## [2学期～入試直前]

7月の前半は勉強を頑張っていて、自分を頑張ろうと思いました。夏休み明け、前半の緊張感が濃くなっていました。公費推薦が近づいてきたので、私は過去問を10日分解き、やり直しをしっかりとしました。過去問を解いておき、苦手な所を見つけて、重点的にセンターまで射り組むようにしていました。過去問が出来なかった所をルーズリーフにまとめて、入試直前見たるようにはしていました。入試直前になると、一回解いた過去問の3日分をもう一回解いて、満点がとれるようにはしていました。過去問をたくさん解くことで、傾向を見極めることが出来ました。

## (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校の行事やクラブ活動はおもいっきり楽しんで、終わった後にはしっかり勉強していました。

スマートフォンは休憩の時に気分転換で見っていました。休憩以外にも見ている時は、

スマートフォンを置いていました。勉強したくないと思った時は友達と外に出てお喋りをして、

ストレスを解消していました。私は英語が本当に出来なくて、凄く落ち込んだのですが、

公費推薦は英語と化学の合計得点なので、英語が出来ないのでも、化学で良い点数をとろうと、努力をしました。

## (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強は長く長く感じますが、このまま勉強していて本当に大丈夫なのか、不安になる事もあると思いますが、自分を信じて、受験勉強を頑張ってください。受験本番はとて緊張があると思いますが、落ち着いて受験にのぞんでください。受験勉強を頑張った分だけ合格した時の喜びは大きいので、ぜひ頑張ってください!!